古文書解読にチャレンジ！　その11　解答

【筆耕】

一礼之事

伊奈友之助様御代官所

武州多摩郡廻り田村

百姓左平次

右之者此度病身ニ付、草津へ湯治

仕度奉存候ニ付罷越申候得共、其身

身分病心ニ付ほこう相成兼申候歟、

若又其御村方宿々ニて行暮候ハヽ、

何卒一夜之宿御借被成可被下候、何

分右之段奉願上候、為念一札差出し

申候、以上

文化四卯年七月

武州多摩郡廻り田村

名主九兵衛

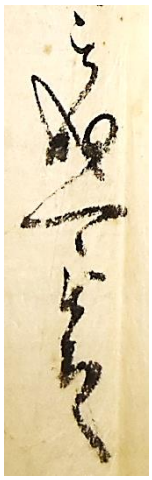
村々宿々

御役人衆中様

○返読に注目！

返読文字とは漢文を訓読する時に語順を逆にして上に返って読む字のことです。レ点や一二点は読む上での補助として使います。近世で広く使われた「候文」でも返読文字はしばしば使われます。よく出る返読文字としては「被」「可」などがあります。これらの文字が出てきたときは注意して読みましょう。

用例①「被」「可」



・被レ成可レ被レ下候（十行目）

…成され下さるべく候（なされくださるべくそうろう）

用例②「奉」

・奉二願上一候（十行目）

…願い上げ奉り候（ねがいあげたてまつりそうろう）

「奉二願上一候」という一文は近世文書で頻出します。